

澁川市人口ビジョン骨子(案)及び澁川市まち・ひと・しごと創生総合戦略骨子(案)に関する市民意見公募(パブリックコメント)実施結果

- 1 意見等の募集期間：平成27年10月1日～平成27年10月30日
- 2 意見等の受付件数：2人、21件
- 3 提出された意見等のうち、骨子案に関するものを項目ごとに整理し、意見等の概要として掲載します。

(1) 澁川市人口ビジョン骨子(案)について

No.	項目	提出いただいた意見等の概要	市の考え方
1	将来の人口展望	将来の人口目標を掲げるに当たっては、平均を下回る出生率と慢性的な転出超過を改善する事が大前提になっている事を周知徹底すべきである。	「将来人口」で自然増・社会増の必要性、「将来人口推計の内容」で具体的な数値を掲載しています。人口ビジョンを策定するにあたり、より分かりやすい内容となるように努め、周知徹底を図ります。
2	将来の人口展望	転出超過から転入超過への移行は、他の自治体との人口の奪い合いになるため、移民や難民を受け入れるなどの政策転換でもなければ、理想的ではあるが、実現が困難である事を十分理解すべきである。	人口減少を克服し、活力ある地域を維持していくために、国立社会保障・人口問題研究所及び日本創成会議の推計値よりも高い数値を目指すべき人口としています。基本目標及び施策の基本的方向に基づく施策を連携させ、効果的・効率的に転入超過へ移行できるよう努めます。
3	将来の人口展望	10代から20代前半(高校や大学等への進学時期)の人口の落ち込みに対処する政策が必要である。	市総合戦略の基本目標3「結婚・妊娠・出産・子育ての環境づくり」の「教育環境の充実」の中で高等教育機関の設置などを推進します。
4	将来の人口展望	人口の転出超過と市外の住民が澁川市を定住地として選んでいない現実を直視して改善に取り組むべきである。	市総合戦略の基本目標2「「ひと」の流れづくり」の「東京圏等からの移住・定住と市民の市内定住・回帰の促進」の中で移住・定住やUターンなどにつながる施策を推進します。

(2) 渋川市まち・ひと・しごと創生総合戦略骨子（案）について

No.	項目	提出いただいた意見等の概要	市の考え方
1	基本目標1 「しごと」 づくり	従業者数が全国平均よりも高いからと言って就業人口が市全体の1割に満たない農業に対する政策が中心になっている事は不適切である。	基本目標1「「しごと」づくり」では、「魅力ある農業の振興と担い手の育成」、「地域ブランドの確立と関連産業の振興」、「地域を担う中小企業の支援」の3つを施策の基本的方向としており、農業だけではなく、中小企業や地場産業の振興についても推進します。
2	基本目標1 「しごと」 づくり	「選別農薬農法」は特定の農薬を使わないように啓蒙・啓発する活動に過ぎず、地方創生の戦略とはならないのではないかと。市内で生産することを除いて差別化が困難な事業は、一般的にブランドにはならないのではないかと。	基本目標1「「しごと」づくり」の「地域ブランドの確立と関連産業の振興」の中で「選別農薬農法」の認証農作物を使用した新商品の開発などを行うことにより、渋川産農産物のブランド確立を推進します。
3	基本目標1 「しごと」 づくり	市の特徴的な産業である温泉観光も含めた商工業をいかに発展させていけるか、企業誘致を進め、資金繰りや設備投資を支援して、創業や新事業開発を促していけるかなどを真剣に議論して市に適合した現実的な戦略を立てるべきである。	市人口ビジョン及び市総合戦略の策定にあたっては、市内の「渋川市まち・ひと・しごと創生推進委員会」や専門的な見地からの意見などを反映するために住民代表、産業界、教育機関、金融機関、労働団体、公募委員などで構成される「渋川市まち・ひと・しごと創生検討会議」などにおいて、検討を進めています。渋川市に合った総合戦略を策定するため、引き続き「渋川市まち・ひと・しごと創生検討会議」などで検討を進めます。

No.	項目	提出いただいた意見等の概要	市の考え方
4	基本目標 2 「ひと」の流れづくり	「ひと」についての戦略が、教育、文化、芸術などに関わる人材育成ではなく、伊香保温泉を核とした観光振興を柱とする人の交流に重点が置かれていることが残念である。人の交流を高めることで仕事、子育て・教育、生活など定住環境が整うような発想がうかがえるが、基本目標 1 の仕事を増やし所得を高める活動、基本目標 4 のまちの生活環境を整える活動と並行して教育・文化を高め人材を育成していく努力が必要であり、基本目標 3 と共に踏み込んで考えるべきである。	基本目標 2 については、交流人口の拡大、企業誘致、移住・定住の促進などによる「ひと」の流れをつくることを目的とし、人材育成については主に基本目標 3 「結婚・妊娠・出産・子育ての環境づくり」の「教育環境の充実」で整理しました。まち・ひと・しごとの創生については、基本目標や施策の基本的方向に基づく施策を連携させることで、効果的・効率的に取り組みます。
5	基本目標 3 結婚・妊娠・出産・子育ての環境づくり	子育て世代が必要とする「仕事と家庭の両立のしやすさ」を追求するために認定こども園の設置や学童保育の充実が必要である。	市総合戦略の基本目標 3 「結婚・妊娠・出産・子育ての環境づくり」の「結婚・妊娠・出産・子育ての切れ目のない支援の充実」の中で放課後、休日、夜間及び病後などの保育や子育て支援の充実について、検討します。
6	基本目標 3 結婚・妊娠・出産・子育ての環境づくり	10 代から 20 代前半にかけては慢性的な転出超過となっており、高校の魅力を高めると共に、大学、短大、専門学校等の高校卒業後の進学環境を整える事が市の最重要課題の一つであり、その課題を解決することで、企業誘致、雇用の創出、所得向上にもつながるはずである。	市総合戦略の基本目標 3 「結婚・妊娠・出産・子育ての環境づくり」の「教育環境の充実」の中で高等教育機関の設置などを推進します。

No.	項目	提出いただいた意見等の概要	市の考え方
7	基本目標4 「まち」づくり	渋川駅周辺への都市機能の集約よりも、旧市町村の小中学校周辺などを拠点とする拠点分散型のまちづくりが現実的ではないか。	渋川市公共施設等総合管理計画に基づく、公共施設等の配置の最適化と併せて、市総合戦略の基本目標4「「まち」づくり」の「地域拠点の活性化とネットワークづくり」の中で検討します。
8	基本目標4 「まち」づくり	空家・空き店舗の活用だけではなく、施設を集約した交流拠点づくりなどにも取り組んでいくべきである。	市総合戦略の基本目標4「「まち」づくり」の「効率的な行財政運営の推進」の中で渋川市公共施設等総合管理計画に基づき、中長期的な視点をもって公共施設等の更新、統廃合等を推進します。
9	基本目標4 「まち」づくり	転入者超過の利根沼田・吾妻地域、転出超過の前橋市、吉岡町、高崎市との関係を見直し、一体的な定住自立圏域の形成を検討すべきである。	市総合戦略の基本目標4「「まち」づくり」の「効率的な行財政運営の推進」の中で隣接する自治体と地域振興の共通課題の解決に連携して取り組んでいく中で、併せて検討します。
10	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基本目標1「しごと」づくり</li> <li>・基本目標2「ひと」の流れづくり</li> <li>・基本目標3結婚・妊娠・出産・子育ての環境づくり</li> <li>・基本目標4「まち」づくり</li> </ul>	数値目標とKPIは全項目「など」と曖昧に表記されていることもあり、正確に測定して適切に評価していく意思があるのか疑わしく思われる。数値目標に具体的な数値がなく、KPIも各施策に対する象徴性・代表性が疑われ、PDCAサイクルを回すために慎重に考えて設定したとは思えない。	数値目標、KPIについては、総合戦略骨子（案）では項目を例示的に整理しており、数値の設定をしていません。今後、庁内や外部の委員会で検討し、具体的な数値などを設定します。

4 問い合わせ先：企画部企画課 TEL：0279-22-2401  
FAX：0279-24-6541  
E-mail：hp-kikaku@city.shibukawa.lg.jp